

石川県立金沢泉丘高等学校通信制課程 令和8年度シラバス

教科	科目	単位数	対象年次	履修	期別	開講時数	必要面接時数	レポート通数
外国語	論理・表現 I	2	原則2年次	選択	通年	1 2	8	6

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、論理の構成や展開及び表現などについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働き、論理の構成や展開及び表現などの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、論理の構成や展開を工夫して、情報や考えなどを適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

期	レポート回	単元	領域	主な評価方法			教材・資料等	スクーリング回	
				知・技	思・判・表	主体的			
前期	1	主語、動詞、疑問文、否定文、品詞などを用いて、基本的な英語の表現を正確に書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	Point 1,2,3,4, 5,6,7,8	1	
		食事の場で褒める、勧める、断るなどの適切な表現を用いて、自分の気持ちや考えを伝え合う。また、道案内で自分の状況や道順をわかりやすく説明して伝え合う。(CAN-DO S(I))	話すこと(やり取り)	☐ 観	☐ 観	☐ 観	Unit 1 Lesson 1 Lesson 2	2	
	2	身近な人を紹介する場で、テーマに関連性を持たせたり、聞き手が注意を引く表現を用いて伝える。(CAN-DO S(P))	話すこと(発表)	☐ 表	☐ 表	☐ 表	Lesson 3	3	
		本単元終了後(教材はLesson 3)「話すこと(発表)」のパフォーマンステストを行う							
		また、体調を伝えたり尋ねたりする場で、指示・アドバイスを表す表現を用いて、自分の考えや気持ちを伝える。(CAN-DO S(P))		☐ 観	☐ 観	☐ 観	Lesson 4		
		買い物の場で食品などを描写したり、相槌をうって自分の考えや気持ちを話して伝え合う。(CAN-DO S(I))	話すこと(やり取り)	☐ 表	☐ 表	☐ 表	Lesson 5	4	
		本単元終了後(教材はLesson 5)「話すこと(やり取り)」のパフォーマンステストを行う							
		また、行ってみたい場所について、希望を述べたり、その理由を論理を一貫させて伝える。(CAN-DO S(I))		☐ 観	☐ 観	☐ 観	Lesson 6		
	3	現在進行形、過去形、未来表現、の働きの確認し、基本的な英語の表現を正確に書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	英文法 Lesson 1,2,3	5	
		仮定法、名詞、冠詞、人称代名詞などの働きの確認し、基本的な英語の表現を正確に書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	英文法 Lesson 4,5,6	6	
	後期	4	イベントに誘ったり、その計画の魅力を伝え合う。また、カウンセリングの時に自分の考えや助言、お礼や感謝を伝え合う。(CAN-DO S(I))	話すこと(やり取り)	☐ 観	☐ 観	☐ 観	Unit 1 Lesson 7・8	7
			お気に入りの映画や本について、あらすじを要約したり登場人物を紹介したりする。(CAN-DO S(P))	話すこと(発表)	☐ 表	☐ 表	☐ 表	Lesson 9	8
本単元終了後(教材はLesson 9)「話すこと(発表)」のパフォーマンステストを行う									
また、待ち合わせの遅刻場面で相手への謝罪、許す気持ちを伝える。(CAN-DO S(P))				☐ 観	☐ 観	☐ 観	Lesson 10		
5		家庭でのディスカッションで共感や残念な気持ちを伝え合う。(CAN-DO S(I))	話すこと(やり取り)	☐ 表	☐ 表	☐ 表	Lesson 11	9	
		本単元終了後(教材はLesson 11)「話すこと(やり取り)」のパフォーマンステストを行う							
		また、英字新聞で自分の要望や主張、その理由を適切な表現で書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	Lesson 12		
6		名詞の修飾語、後置修飾、受動態、などの働きの確認し、基本的な英語の表現を正確に書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	英文法 Lesson 7,8,9	10	
		使役動詞、could・should、to 不定詞・動名詞、などの働きの確認し、基本的な英語の表現を正確に書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	英文法 Lesson 10,11,12	11	
		名詞と無生物主語、否定語、and/but/so の働きの確認し、基本的な英語の表現を正確に書いて伝える。(CAN-DO W)	書くこと	☐ 試	☐ 試	☐ 試	英文法 Lesson 13,14,15	12	

使用教科書	・教科書:NEW FAVORITE English Logic and Expression I Revised(東京書籍) ・学習書:NEW FAVORITE English Logic and Expression I (NHK 出版)
放送視聴	NHKラジオ高校講座「論理・表現 I」面接指導 4 回分(20分番組×3で1回分)まで免除可能。年間計画表を確認すること。

主な評価方法

☐ : 言語活動の際に用いるレポート ☐ : 活動の観察 (単元終末の言語活動やそれに至るまでの言語活動の観察)
☐ : 試験 (学習したことを実際に活用する力が身についているかを評価する) ☐ : パフォーマンステスト

CAN-DOリスト

聞くこと Listening	標準的な英文を聞いて、日常的话题や社会的な話題について、必要な情報や話し手の考えなどを理解したり、概要や要点を目的に応じて捉えることができる。	
読むこと Reading	説明、評論、物語、随筆など様々な英文について、未知語の意味を推測しながら速読や精読など目的に応じた読み方ができる。聞き手に伝わるように、イントネーションに注意して音読することができる。	
話すこと Speaking	発表 Presentation	日常的话题や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、適切な語句や表現を用いて、根拠を交えながら論理的に自分の意見を発表することができる。
	やり取り Interaction	日常的话题や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、適切な語句や表現を用いて、情報や考えなどについて、話し合ったり、意見の交換をしながら、結論をまとめることができる。
書くこと Writing	日常的话题や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを基に、適切な語句や表現を用いて、情報や考えなどについてまとまりのある文章で説明したり、感想を書いたりすることができる。	